

## 研究発表会開催通知

(昭和 59 年 8 月 15 日～9 月 30 日)

研究会	日	時	会場	備考
マイクロコンピュータ	8月31日(金)	13:30~17:00	日本ユニバック	前号参照
グラフィクスとCAD	9月4日(火)	13:00~17:00	阪大	下記参照
データベース・システム	9月17日(月)	13:30~17:00	機械振興会館	同上
情報システム	9月18日(火)	13:30~17:00	同上	同上
設計自動化	9月18日(火)	13:15~17:00	商業界会館	同上
知識工学と人工知能	9月19日(水)	10:30~16:00	電総研	同上
コンピュータビジョン	9月20日(木) 9月21日(金)	15:00~17:00 10:00~12:00	広島大	同上
オペレーティング・システム	9月21日(金) 9月22日(土)	9:30~17:00 9:30~17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	9月26日(水)	13:30~17:00	商業界会館	同上
自然言語処理	9月28日(金)	13:30~17:00	武蔵野通研	同上
ソフトウェア基礎論	9月28日(金)	13:30~17:00	京大	同上

### ◆ 第14回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 田島太郎, 幹事: 井越昌紀, 木村文彦, 松家英雄)

**日時** 昭和 59 年 9 月 4 日 (火) 午後 1 時～5 時  
**会場** 大阪大学工学部電気系 1 階会議室 (E 3/112 号)  
 [大阪府吹田市山田丘 2-1, 地下鉄御堂線: 千里中央駅下車, タクシーにて約 10 分, または阪急千里線: 北千里駅下車, 徒歩約 15 分, Tel. 06 (877) 5111 内線 5026]

- 議題**
- (1) 計算機を用いた洋裁用型紙作成およびデザインシステム  
 中嶋正之, 安居院猛, 新井幸宏, 金子嘉和 (東工大・像情報)  
 [概要] 服飾の分野に対するコンピュータ・グラフィクスの応用として婦人服用 CAD システムを試作したので報告する. 型紙作成, 立体表示のアルゴリズムについて示す.
  - (2) 影および拡散照度を考慮した三次元物体の陰影表示  
 西田友是 (福山大・工), 中前栄八郎 (広島大・工)  
 [概要] 各種の光源による影を考慮した直射照度, 相互反射を計算することにより, より現実感のある画像を得る方法を提案する.
  - (3) コンピュータ・グラフィクスにおける感性の挿入に関する研究  
 長江貞彦, 辻合秀一, 宮本貴朗 (大阪府大・総合科学)  
 [概要] 従来のコンピュータ・グラフィクスにおける画像の表現では幾何光学に

基づく処理である。本研究では心理的な側面も加味したソフトウェアの手法を提案する。

(4) LINKS/1 によるアニメーション製作について

西村仁志, 出口 弘, 河合利幸, 河田 享,  
白川 功, 大村皓一 (阪大・工)

〔概要〕 LINKS/1 画像データ定義および検証システム, 画像生成システムの機能とこれらを用いたアニメーション製作手順について報告する。

(5) コンピュータグラフィックスとアニメーション技術の融合について

金子 満, 大口孝之 (JCGI)

〔概要〕 セルアニメーション技術は, 基本的に 80 年と変わらない。成長しつつある C・G 技術とのドッキングは将来性があるだろうか。

(6) CG 用語の統一について (コンピュータアニメーション)

中前栄八郎 (広島大・工), 沓沢淳之助 (NHK), 大村皓一 (阪大・工),  
山本 強 (北大・工), 山口富士夫 (九州芸工大・工業設計),  
中嶋正之 (東工大・像情報)

〔概要〕 CG に関する用語のうちから特にアニメーションに関係の深い用語を選択収集し, 資料を作成した。

◆ 第 43 回 データベース・システム研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 酒井博敬, 幹事: 有澤 博, 三浦孝夫, 吉田郁三)

日 時 昭和 59 年 9 月 17 日 (月) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷一東京タワー線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) マルチメディア・データベースに向けたデータ・モデルについて

村田達彦, 寺中勝美, 鈴木健司, 石垣昭一郎, 岸本義一 (横須賀通研)

〔概要〕 図形, 画像等の情報で構成されるマルチメディア・データベースに適したデータ・モデルについて述べる。

(2) 対象世界のモデルを利用したデータベース検索システム

泉田義男, 星合 忠, 石川 博, 吉野利明, 牧之内顯文 (富士通研)

〔概要〕 対象世界の知識を表現した世界モデルを利用した日本語によるデータベース検索システムについて報告する。

(3) CPU グレードアップと ADABAS 処理効率 桂 元親 (日産自動車)

〔概要〕 コンピュータ処理能力の限界を業務の中核であるデータベース処理中心に, ベンチマークテスト結果で分析した。

(4) 「行政データ共通利用システム」について 加藤友義 (神奈川県企画部)

〔概要〕 神奈川県で開発を行った「行政データ共通利用システム」の特徴, 稼働状況, 将来構想等について報告します。

## ◆ 第2回 情報システム研究会

(発表件数：3件)

(主査：浦 昭二，幹事：柳原一夫，山本毅雄，若尾暢宏)

日時 昭和59年9月18日(火) 午後1時半～5時

会場 機械振興会館 地下3階研修1号室 (所在地は前記参照)

議題 (1) 総合OAシステム 毛利雄邦(東芝)

[概要] OA化を進めるために情報の流れ，事務体制，意志決定の経路に沿って設計，構築したOAシステムのハードおよびソフトについて述べる。

(2) 高エネルギー物理学研究所におけるデータ処理について

高橋秀知，荻田幸雄，馬渡博司，三浦靖子，八代茂夫

(高エネルギー物理学研究所)

[概要] 高エネルギー物理学研究所におけるデータ処理の特殊性と現状を紹介し，将来の計画について展望する。

(3) 家庭情報システム 久保菊雄(リコー)

[概要] ホームコンピュータの進歩に伴い，家庭における情報処理やホームセキュリティなど制御への応用が試みられている。またINSやVANなどのニューメディアの当展によって，ホームバンキングやホームショッピングなどについても期待されている。

## ◆ 第23回 設計自動化研究会

(発表件数：5件)

(主査：村井真一，幹事：上原貴夫，向殿政男)

日時 昭和59年9月18日(火) 午後1時15分～5時

会場 商業界会館 2階大会議室

[東京都港区麻布台2-4-9，地下鉄：日比谷線神谷町，バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，等々力—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車，飯倉交差点角  
Tel. 03(584)7311]

議題 (1) 計算幾可学的手法を用いた二層ルータ

佐藤政生，降矢安成，大附辰夫(早大・理工)

[概要] グリッドレスルータによる縦横原則一方向最短経路アルゴリズムと実験結果の報告，および多点間配線の処理手法を示す。

(2) 並列ルーティングプロセッサの試作

橋 昌良，中島 聰，鈴木 敬，大附辰夫(早大・理工)

[概要] Leeの迷路法を並列に処理する専用プロセッサの試作結果と，より高度な配線処理への応用について発表する。

(3) データフロー・マイクロプロセッサを用いた論理シミュレーション

黒川秀文(日電)

[概要] データフロー・アーキテクチャを基礎にしたマイクロプロセッサを用いた論理シミュレーション・システムについて論じる。

(4) 回路分割を前処理とするゲート割付け手法

柿沼守男，辻 裕生，村井真一(三菱電機)

[概要] ゲート間の接続関係を基準に，論理回路をあらかじめ分割し，各分割内でゲートを割付ける手法とその効果を述べる。

(5) 論理生成システム ANGEL の最適化手法

遠藤 真, 星野民夫, 唐津 修 (厚木通研)

[概要] RTL レベルの機能仕様から論理を生成するシステム ANGEL の論理最適化手法とその評価について述べる.

◆ 第 36 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 志村正道, 幹事: 石塚 満)

日 時 昭和 59 年 9 月 19 日 (水) 午前 10 時半~午後 4 時

会 場 電子技術総合研究所 本館大会議室

[茨城県新治郡桜村梅園 1-1-4, 国鉄: 常磐線荒川沖下車, (上野発—7: 54, 8: 11, 8: 19, 8: 45, 9: 38, 11: 09, 11: 33), 関東鉄道バス(荒川沖駅東口): 筑波大中央行, 並木 2 丁目下車, 徒歩 5 分, タクシーは西口より約 15 分.  
Tel. 0298 (54) 5462]

議 題 (1) 協調問題解決機構を目指したサブジェクトに基づく知識表現

久野 巧, 諏訪 基 (電総研)

[概要] 複数のサブジェクトが主体的に機能して問題解決を行うという考え方に基づいた知識表現について提案する.

(2) Prolog/KR から Uranus へ——多重世界機構の拡張——

中島秀之, 戸村 哲, 諏訪 基 (電総研)

[概要] 知識表現システム Prolog/KR を発展させた Uranus について, 多重世界機構を中心に基本的考え方を述べる.

(3) 文脈情報を抽出するための意味表現構造について

石崎 俊, 井佐原均 (電総研)

[概要] 文脈情報を処理するための意味表現構造 I-MOP を提案し, 新聞記事の解析例等について述べる.

(4) 図面記号の学習理解 河越正弘, 喜多伸之 (電総研)

[概要] 図面の柔軟な認識・理解のための, 図面記号の学習理解システムの設計および実験について報告する.

(5) データ構造からのアルゴリズムの導出——木の場合について——

中川裕志 (横浜国大)

[概要] Prolog プログラム変換を利用して, データ構造 (2 分木) の定義からアルゴリズムを導出する過程について述べる.

(6) 知識アーキテクチャの構想 近藤浩康 (ICOT)

[概要] 現在, 将棋を題材として, 人間の情報処理的なモデルの構築を試みている. その構想の概要を報告する.

(7) 知識獲得システムと知識適応システム

北上 始, 國藤 進, 宮地泰造, 古川康一 (ICOT)

[概要] 著者らが研究試作している知識獲得システムを, 知識適応プロセスにおいてどのように利用するかについて報告する.

(8) Constraint に基づく知識の意味表現と獲得について

宮地泰造, 國藤 進, 北上 始, 古川康一 (ICOT)

〔概要〕 ホーン節論理式により知識の意味や必要条件を表現・検査するための Constraint に基づく方法について報告する。

(9) 手続き指向型プロダクションシステム P<sub>0</sub>-PS とその応用

小野典彦, 小林重信 (東工大)

〔概要〕 ルールの行動部とインタプリタに制御知識を陽に組み込んだプロダクションシステム P<sub>0</sub>-PS の概要を示す。

\* 研究会終了後, 関連研究室の見学を予定しております。

## ◆ 第 32 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 辻 三郎, 幹事: 木戸出正継, 杉原厚吉)

日 時 昭和 59 年 9 月 20 日 (木) 午後 3 時~5 時  
9 月 21 日 (金) 午前 10 時~12 時

会 場 広島大学工学部

〔東広島市西条町大字下見, 山陽本線・西条または八本松下車, バス: 大学会館行き (約 15 分) 終点で下車, タクシー: 10 分, Tel. 0824 (22) 7111 内線 3450〕

\* なお, 新幹線広島駅からキャンパスまで 1 時間を見込んで下さい。

議 題 第 1 日目 9 月 20 日 (木) 午後 3 時~5 時

(1) 画像処理プロセッサ TIP-3 ハードウェア構成

森下 丈, 天満 勉, 首藤正道 (日電)

〔概要〕 画像処理プロセッサ LSI L<sub>m</sub>PP を中心に構築した小型高性能の画像処理システム TIP-3 を提案し, その構成について述べる。

(2) 画像処理プロセッサ TIP-3 言語および実行制御モニタ

緑川博子, 天満 勉 (日電)

〔概要〕 画像処理システム TIP-3 を用いて会話的に画像処理を行うためのタスク実行管理, プログラム記述について述べる。

(3) 地図情報システムにおける基本操作機能

吉野祐介, 吉村 斉, 田中 稔, 市川忠男 (広島大・工)

〔概要〕 地図要素の重要性・関連性に応じた出力を行える地図用画像データベースシステムのデータ構造とその操作方式について述べる。

第 2 日目 9 月 21 日 (金) 午前 10 時~12 時

(4) 類似画検索のためのプロダクションシステムとルール変更ツール

友田大輔, 竹田祐幸, カンシット・マイットリー,

田中 稔, 市川忠男 (広島大・工)

〔概要〕 類似画検索のためのプロダクションシステムを紹介し, プロダクションセットの変更を行う対話型ツールについて述べる。

(5) Smoothed Local Symmetries による 2 次元図形の階層的記述

麻田治男 (東芝総研)

〔概要〕 領域の記述と輪郭の記述とを組合せた階層的な 2 次元図形の記号表現方式を報告する。

(6) 視覚神経系のモデルによる研究

三宅 誠 (NHK)

〔概要〕 視覚神経系の神経生理学的知見を参考にしたモデルをもとに、視覚・情報処理のアルゴリズムを推定しようとする研究がある。本稿では比較的新しいモデルを中心に紹介し、研究動向を眺める。

\* なお、第1日目(9月20日)の午後5時~6時30分に懇親会を行いますので、ふるってご参加下さい。

## ◆ 第24回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数: 16件)

(主査: 益田隆司, 幹事: 紀一誠, 関野陽, 吉澤康文)

日時 昭和59年9月21日(金) 午前9時半~午後5時

9月22日(土) 午前9時半~午後5時

会場 機械振興会館 地下3階研修2号室 (所在地は前記参照)

議題 9月21日(金) 午前9:30~12:00

(1) スーパーパーソナルコンピュータの最近の動向

斎藤信男(慶大・理工)

〔概要〕 高度な機能を持つスーパーパーソナルコンピュータの最近の動向について、特にOSを中心に紹介する。

(2) プロセス・ネットワークによるOSの性能について

田胡和哉, 益田隆司(筑波大・電子・情報)

〔概要〕 通信で結合されたプロセスの集合によって記述されたOSを実現し、その性能を測定し、解析したのでそれについて述べる。

(3) ネットワークを用いた計算機利用環境

村井純, 斎藤信男(慶大・理工)

〔概要〕 慶應大学斎藤研におけるLANで結合したUnixと端末ネットワークを用いた利用環境について述べる。

午後1:00~5:00

(1) S&Tnet上の分散型オペレーティングシステムの基本機能

砂原秀樹, 所真理雄(慶大・理工)

〔概要〕 S&Tnet上に構築された分散型オペレーティング・システムの基本機能について述べる。

(5) UNIX上でのSmalltalkの実現 寺田実, 鈴木則久(東大・工)

〔概要〕 SmalltalkをUNIX上のウィンドウ・システムであるsuntoolsの下での実現法・問題点について解析する。

(6) MICROSOFT WINDOWS 西田憲正(アスキー)

〔概要〕 マルチウィンドウ管理, データ交換機能, グラフィックスインタフェース等を統合したWINDOWSの概要と特長を述べる。

(7) リアルタイムUnix 村井純(慶大・理工)

〔概要〕 Unixを実時間処理向きに改造したMasscomp社のオペレーティングシステムRTU-01などについて述べる。

(8) Syte 3000の核GEM 鈴木治(日商エレクトロニクス, 明電舎)

〔概要〕 異なるOS環境をユーザに与えるsyte 3000の核を構成するGEMについてその機能を示す。

9月22日(土) 午前9:30~12:00

(9) NUE/TAO/ELIS の OS 的側面

竹内郁雄, 奥乃 博, 大里延康 (武蔵野通研)

〔概要〕 知能処理プログラミング環境 NUE の OS 核の中から, 多重プログラミング, 実時間ゴミ集め, I/O 等のトピックスを拾う.

(10) ロボットシステム用マルチメディアディスプレイの設計思想

塚本享治, 松井俊浩 (電総研)

〔概要〕 LAN に結合された多数台のロボットを遠隔から操作, 開発, 運用するためのロボット用ワークステーションを開発中である. 今回は製作中のこのワークステーション用ディスプレイシステムの設計思想について報告する.

(11) TRON

坂村 健 (東大・理)

〔概要〕 マイクロプロセッサ用リアルタイムオペレーティングシステム「TRON」について, および「TRON プロジェクト」について発表する.

午後 1:00~5:00

(12) OS/o のアーキテクチャと第一版の実現

高橋延匡, 並木美太郎, 武山潤一郎, 中川正樹 (農工大・工)

〔概要〕 日本語情報処理を目的とした 16/32 ビット用スーパーパーソナルコンピュータのオペレーティングシステムを試作開発したので報告する.

(13) 6300 モデル 55 のマルチメディア処理 OS

小林一彦 (日電)

〔概要〕 日本語, 図形, イメージを扱う N 6300/55 オフィスターミナルの WS 用 OS の概要について述べる.

(14) マイクロコン 68000 用モジュラ OS

筒井茂義, 横畑静生, 前田多可雄, 矢部栄一, 石田正浩 (日立)

〔概要〕 機器組込みから中規模実時間システムまで機能の積木化により適用可能な 68000 用モジュラ OS の開発.

(15) UX-300 F の OS/UX (日本語 UNIX)

中原 康 (東芝)

〔概要〕 UNIX に日本語を取り込む上の問題点を明らかにし, OS/UX での実現法と UNIX への親和性を論ずる.

(16) 知識ベース開発システム LIP<sub>s</sub> について 大久保清貴 (パナファコム)

〔概要〕 UNIX 上で動作する LISP, INGRES, PROLOG を用いた新しいプログラミング環境を作製した.

## ◆ 第 38 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 久保未沙, 花田収悦)

日 時 昭和 59 年 9 月 26 日 (水) 午後 1 時半~5 時

会 場 商業界会館 2 階大会議室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) プログラムの制御フローに基づくテスト・ケース設計法

大場 充 (日本IBM)

〔概要〕 実験計画法で用いられている直交表の応用により, プログラムの制御構造をもとにテストケースを設計する方法.

(2) エンドユーザ向け製品の“使い易さ”の定量的評価

菊田泰代 (富士通)

〔概要〕 エンドユーザ向け製品の“使い易さ”の定量的評価モデルとその適用事例および効果報告。

(3) 再利用支援ツール SPISE-II のモジュール設計への適用評価

松村一夫, 小尾俊之, 山城明宏, 大筆 豊 (東芝)

〔概要〕 SPISE-II は定型パターン部品等の再利用を支援する。50 SM (ステップ・モジュール) の方法論を設定し, SPISE-II の適用法および効果。

(4) CLU 言語のためのライブラリ管理システム 佐渡一広 (群大・工)

〔概要〕 CLU プログラムの変更部分を検出して必要部分のみ再処理するシステム。非階層的ファイルシステムでも効率よく動作。

#### ◆ 第 45 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 榊 博史, 野村浩郷, 日高 達)

日 時 昭和 59 年 9 月 28 日 (金) 午後 1 時半～5 時

会 場 電電公社武蔵野電気通信研究所 6-202 B

〔武蔵野市緑町 3-9-11, 国鉄: 中央線三鷹駅北口下車, 関東バス (1 番乗場): 北裏行 (便多数) 武蔵野市役所前下車徒歩 5 分, Tel. 0422(59)3326〕

議 題 (1) 辞書編集用フレームエディタ

小暮 潔, 横尾昭男, 島津 明, 野村浩郷 (武蔵野通研)

〔概要〕 フレーム型に表現されている機械翻訳用辞書の構成と, マルチウインド対話型エディタについて述べる。

(2) 英日翻訳における受給表現の扱いについて

山本祥子 (元東京女子大), 吉本 啓, 片桐恭弘, 野村浩郷 (武蔵野通研)

〔概要〕 日本語に特有のヤル・クレル・モラウなどの受給表現を生成する問題について, 談話文法の観点を取り入れて述べる。

(3) 語彙関数を用いた日本語の言い替え系 岡本哲也, 清水俊明 (電通大)

〔概要〕 語彙関数を用いた日本語の言い替え系の実現と言い替えの結果について述べる。

(4) 単語の釈義文を利用した単語間の階層関係の抽出について

鶴丸弘昭 (長崎大・工), 日高 達, 吉田 将 (九大・工)

〔概要〕 国語辞典の語釈義文の構造的特徴を活用して, 単語間の意味的關係の一つである階層関係を語釈義文から抽出するシステムの概要とその実験結果について報告する。

(5) COLING '84 に出席して 長尾 真, 辻井潤一, 中村順一 (京大・工)

〔概要〕 1984 年 7 月に米国スタンフォード大学で開催された COLING (計算言語学国際会議) に出席したのでその概要を報告する。

#### ◆ 第 10 回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 淵 一博, 幹事: 二村良彦, 雨宮真人)

日 時 昭和 59 年 9 月 28 日 (金) 午後 1 時半～5 時



- 会 場** 京都大学数理解析研究所 4階大講演室 (420号室)  
 [京都市左京区北白川追分町, 国鉄: 京都駅烏丸口下車, 市バス: 特17号北白川下車, 206号百万遍下車, 地下鉄: 今出川下車, 市バス: 203号乗継北白川下車.  
 Tel. 075 (751) 2111]
- 議 題**
- (1) ecLR-attributed Grammars: Attribute Grammars Suitable for LR Parsing  
 佐々政孝, 石塚治志 (筑波大・電子・情報)  
 [概要] LR 構文解析と同時に, 1パスで意味解析を行える属性文法のクラスについて述べる.
- (2) 拡張属性文法に基づく言語記述言語 LEAG の概要と ACTOR 言語インプリメントへの応用  
 松田裕幸 (東工大・理)  
 [概要] 言語記述言語として LEAG (Language based on Extended Attribute Grammars) を提案. またその応用例として, LEAG による ABCL (Actor Based Core Language 注: 東工大米澤研究室で開発中) トランスレータ作成について報告する.
- (3) ストリーム型関係演算処理方式  
 清木 康, 長谷川隆三, 兩宮真人 (武蔵野通研)  
 [概要] 関係演算処理をストリームに対する関係の実行に対応させ, 先行・遅延評価を用いて有限資源の中で関係演算処理を行う方式について論ずる.
- (4) 論理型言語におけるユニフィケーションの拡張について  
 柴山悦哉 (東工大・理)  
 [概要] 論理型言語の機能を, その primitive の数をあまり増さずに, 拡張する試みについて述べる.
- (5) 並列処理向き論理型言語の提案  
 相田 仁, 田中英彦, 元岡 達 (東大・工)  
 [概要] 並列マシンの上に実装されることを念頭におき, 逐次処理と並列処理, 外部での時間進行と内部での問題解決順序を明確に区別可能な論理型言語を提案する.

◆ 記号処理研究会

研究会開催日を下記のとおりに変更いたしましたのでお知らせいたします.

第31回

日 時 昭和59年10月11日(木) 午後1時半~5時(夕刻懇親会予定)  
 10月12日(金) 午前9時~午後5時

会 場 北海道大学工学部  
 (なお, 詳細は9月号本欄に掲載いたします.)

第32回

日 時 昭和59年12月14日(金) 午後1時~5時  
 会 場 慶應義塾大学理工学部

発表申込方法 発表を希望される方は次の①~④を記入した申込書(書式は自由)を学会事務局研究会係宛にお送り下さい. ①タイトル ②氏名 ③論文概要(50字以内) ④連絡先(正確な住所と電話番号), 締切りは昭和59年9月末日です.

記号処理研究会主催第三回 LISP コンテストおよび第一回 PROLOG コンテストのお知らせ  
標記のコンテストを下記の要領で実施しますので、言語処理系の作成者だけでなくユーザの方も奮ってご参加下さい。(詳細は、記号処理研究会資料 28-4にあります。)

〔課題の配布〕 ①ソース・リスティング ②磁気テープ ③フロッピー・ディスク (8インチ片面単密度の CP/M 形式)

②, ③については媒体をお送り下さい。

〔締切〕 昭和 59 年 12 月末

〔連絡先〕 〒180 武蔵野市緑町 3-9-11

電電公社武蔵野通研 情報二研 奥乃 博 Tel. 0422 (59) 3323

#### ◆ 知識工学と人工知能研究会

第 37 回の研究会を、11 月に東京で開催する予定です。

なお、当日「知識工学とプログラミングの接点」についてパネル討論会を行います。

#### ◆ グラフィックスと CAD 研究会

研究会開催予定は下記の通りです。なお、カッコの中は申込締切日です。

11 月 6 日 (火) 13:00~17:00 機械振興会館 (8 月末日)

3 月 15 日 (金) 9:00~17:00 同上 (12 月中旬)

また、12 月 6 日 (木)、7 日 (金) には「グラフィックスと CAD」シンポジウムを開催します。申込締切日は 8 月 15 日です。論文概要は和文 A 4 判用紙 400 字程度に発表題目、発表者氏名、連絡先、TEL を記入し学会事務局シンポジウム係に送付して下さい。

#### ◆ 数値解析研究会

第 10 回研究会 (発表件数: 4 件) を下記の通りに開催します。

- |     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 59 年 10 月 6 日 (土) 午後 1 時半~5 時   |
| 会 場 | 京都大学数理解析研究所 1 階 115 室 (所在地は前記参照)   |
| 議 題 | (1) 楕円型方程式に対する境界要素法 磯 裕介 (京大・数理解析研)<br>〔概要〕 一般の楕円型方程式に対して、境界要素法による解法の理論と実例を論ずる。<br>(2) 正則格子による多重数値積分の試み 一松 信 (京大・数理解析研)<br>〔概要〕 台形公式の一般化として、正三角格子のような正則格子点を使う数値積分公式による実例と誤差解析を述べる。<br>(3) チェビシェフ級数展開にもとづく半無限振動積分 長谷川武光 (福井大・工), 鳥居達生 (名大・工)<br>〔概要〕 関数のチェビシェフ級数展開と数列の加速法を利用した半無限区間振動積分の計算法を述べる。<br>(4) 数値・数式混合処理システムの prolog による開発 野田松太郎, 戒能芳弘 (愛媛大・工)<br>〔概要〕 できる限りパーソナルに使用できる数式処理システムの開発と、数値計算との結合について述べる。 |

#### ◆ マイクロコンピュータ研究会

第 34 回の研究会を計算機アーキテクチャ研究会と合同で下記の通りに開催いたします。

- |     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 59 年 11 月 5 日 (月) 午後 2 時~5 時                                  |
| 会 場 | 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室 (所在地は前記参照)                                  |
| 議 題 | (1) 言語 OCCam の設計思想と TRANSPUTER について<br>(2) 言語 OCCam の構文について<br>他 |

なお詳細は 10 月号本欄に掲載いたします。

◆研究会開催予定 (10月～60年3月)

自然言語処理	12月7日(金) 九大 3月15日(金) 機・B3-研2	1月25日(金) 京大会館
データベース・システム	11月20日(火) 機・B3-1 3月26日(火) 東京	1月22日(火) 機・B3-2
知識工学と人工知能	11月22日(木) 機・B2ホール 3月19日(火) //・B3-2	1月24日(木) 京大
記号処理	10月11日(木)・12日(金) 北大 3月12日(火) 武通研	12月14日(金) 慶大
ソフトウェア工学	11月28日(水) 機・B3-2 2月7日(木)・8日(金) 地方	
マイクロコンピュータ	10月26日(金) 名古屋 12月18日(火) 機・B3-2	11月5日(月) 機・B3-研1 2月26日(火) 東京
計算機アーキテクチャ	11月5日(月) 機・B3-研1 3月8日(金) 機・B3-1	1月18日(金) 機・B3-2
オペレーティング・システム	12月14日(金) 東京	3月1日(金) 機・B3-2
コンピュータビジョン	11月16日(金) 筑波大 3月中旬 東京	1月24日(木) 京大
設計自動化	11月20日(火) 阪大工業クラブ	2月19日(火) 機・B3-1
分散処理システム	11月16日(金) 名古屋	2月22日(金) 東京
日本文入力方式	10月3日(水) 機・B3-1 12月5日(水) 機・B3-9	11月7日(水) 機・B3-1 2月13日(水) //・B3-1
グラフィクスとCAD	11月6日(火) 機・B3-2	3月12日(火) 機・B3-研1
数値解析	10月6日(土) 京大・数理解析研 2月22日(金) 機・B3-2	12月7日(金) 東京
ソフトウェア基礎論	12月14日(金) 機・B3-2	2月22日(金) 武通研
情報システム	12月18日(火) 機・B3-研1	2月19日(火) 機・B3-2

注) 機一機械振興会館

## 情報処理学会第 29 回 全国大会 (昭和 59 年後期) 参加について

- 期 日 昭和 59 年 9 月 11 日(火)～13 日(木)  
会 場 東北工業大学 (仙台市八木山香澄町 35-1)  
プログラム 詳細を本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場等はプログラム末尾の会場案内図を参照ください。

### 一般参加の方へ

1. 総 受 付 東北工業大学 1 号館正面玄関内
2. 参 加 費 会 員 1,000 円 (賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます.)  
非会員 2,000 円 (ただし電子通信学会会員は会員番号を申し出てください。会員扱いとします)。
3. 論 文 集 定 価 6,000 円 (予約価 5,000 円)  
8 月 20 日締切の予約を原則とします。6 月号綴込みの申込書をご利用ください。  
(当日、予約者以外にお頒けできるのは、残部のある場合に限りです。)  
◎参加される方は、総受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章を胸につけていないと会場に入れません。

### 一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、おそくとも自分の前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします (都合により 13 分のセッションもあります)。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 説明用の掛図 (3 枚以内) は、各自で黒板に止めてください。

### 懇 親 会

第 1 日目 (9 月 11 日) の夜、宮城第一ホテルにて催されます。会費 3,000 円  
参加希望者は総受付にて当日受け付けます。

### その他の一般注意

1. 食堂: 4 号館地下 1 階。休憩室: 5 号館 2 階製図室と 1 号館 3 階 10 番教室。  
情報処理機器展: 5 号館 2 階製図室 (プログラムの会場案内図参照)。
2. 電話の呼び出しはいたしかねます (万一止むを得ない場合のみ、伝言板のみに掲示)。  
Tel. 0222 (28) 0541
3. 駐車場はありません。自家用車による参加は厳禁します。

## 創立 25 周年記念論文公募について

情報処理学会では創立 25 周年を記念して、昭和 60 年 11 月発行の会誌「情報処理」を、研究会の活動を反映させた記念論文特集号とすることに決定いたしました。

申すまでもなく、研究会は会員相互の自主的な研鑽と研究情報交換の場であり、学会活動の大きな柱であります。従来、研究会活動の活性化と自主性を高める方策がとられて参りましたが、今回その成果を記念論文特集号に反映させることは、記念事業としてふさわしく、学会の将来への発展の礎石となるものであります。

したがいまして、会員各位におかれても、奮って応募されますようご案内申しあげます。

### 1. 記念論文特集の構成

記念論文は、16 の研究会のそれぞれの活動分野を特徴づける独創性の高い学術論文であるものとします。なお、各研究会は関連する研究分野の動向と、記念論文の位置付けを明らかにした論説を付けるものとします。

### 2. 候補論文選定の方針

各研究会は、研究分野だけでなく性格も同一ではありません。したがって、候補論文選考の方針、基準等は各研究会に一任されます。各研究会の方針、規定等は学会誌ならびに研究会報告に公示されます。各研究会は昭和 60 年 5 月末までに、各 1 編の候補論文を記念論文特集号編集委員会に推薦、提出するものとします。

### 3. 記念論文選定の手順

調査研究運営委員長、同じく一号委員ならびに会誌、論文誌、欧文誌編集担当の理事で構成される 25 周年記念論文特集号編集委員会は、各研究会より推薦された候補論文を審査し、各研究会に第一次査読を委託し、内容について十分な審議と必要な修正を求めます。また、上記の論説の執筆を依頼します。

第一次査読を通過した論文は、論文誌査読委員の査読をうけ、十分な審査を行います。この間、疑問があれば、第一次審査にもどされます。論文基準に達していなければ、不採択もあり得ます。これらについての調整は、記念論文特集号編集委員会が当り、第一次、第二次査読を通過したものが、記念論文特集号に組み入れられます。

### 4. 論文執筆の基本事項

論文執筆の細目は各研究会にゆだねられますが、下記の基本事項はお守り下さい。

- (1) 論文は刷り上り約 8 ページ、研究会が付ける論説は 2 ページをめどとする。論文の表現は、できるだけ明確かつ全貌のわかり易さに心掛けること。
- (2) 文章は邦文とし、執筆者は学会員であること。公募論文の提出先は、該当研究会宛とする。
- (3) 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内に準拠した書き方であること。

### 5. 特記事項、その他

- (1) 25 周年記念論文に選定されたことを荣誉とし、論文賞の対象といたしません。
- (2) 選定論文 1 編につき論文別刷 100 部を贈呈します。
- (3) 各研究会の募集方針、規定等は下記のとおりです。
- (4) 不明の事項については学会事務局研究会係までお問合せください。

◆ データベース・システム研究会

下記の要領で投稿された論文と、58/59年度の研究会およびシンポジウムでの発表で同意を得たものの中から1編を推薦する。

応募論文は、邦文で刷り上り8ページ(学会所定原稿用紙48枚)を上限とし「記念論文」であることを明記して、12月末までにコピー3部を送付のこと。

原稿送付先：〒104 中央区築地 5-6-4

三井造船(株)電算センター 三浦孝夫 Tel. 03(544)3090

◆ 知識工学と人工知能研究会

昭和60年3月までに当研究会で発表された論文の中より選定する。ただし、論文誌等に未発表のものに限る。

◆ 記号処理研究会

選考対象 当研究会にて過去に発表されて、査読付きの論文として公表されていない論文。

選考方法 (1)研究会活動に積極的な登録会員(約50名)から、最大3編の候補論文を無記名で推薦してもらい、候補を5編程度にしぼる。

(2)連絡委員の中より数名で構成された作業グループにより、推薦すべき論文1編を決定する。

◆ ソフトウェア工学研究会

第38回(59年9月)、第39回(59年11月)、第40回(60年2月)の研究会で発表された論文の中から研究連絡会において一論文を選び、記念論文として寄稿を依頼する。ただし、適当な論文がないときは、研究連絡会で執筆者を選び依頼する。

◆ マイクロコンピュータ研究会

選考対象 (1)昭和60年3月までに研究会で発表された論文。

(2)昭和69年3月までに提出された研究会資料程度の投稿論文。

(3)選定委員会が依頼した論文。

選考方法 連絡委員を中心とした選定委員会を設け、選考対象から一論文を選定する。

論文提出先：〒101 千代田区神田錦町 2-2

電機大学・工・電気通信 安田寿明 Tel. 03 (257) 0370

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

選考対象 (1)昭和60年3月までに研究会で発表された論文。

(2)昭和59年11月の計算機アーキテクチャシンポジウム発表論文。

選考方法 連絡委員を中心とした委員会により60年3月に一論文を選定する。ただし、適当な論文がないときは、選定委員会から依頼することもある。

◆ オペレーティング・システム研究会

下記の要領で投稿された論文と、当研究会で昭和59年度までに発表され査読付きの論文として公表されていない論文のなかから一論文を選定する。

論文応募者は、11月末までにアブストラクトを、2月末(必着)までに本論文を提出する。アブストラクトには、表題、著者名、所属、連絡先、アブストラクト(A4判で3ページ以内)、本論文の構成、関連資料等を添えること。本論文は、「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内にしたがう。

アブストラクト・本論文提出先：〒305 茨城県新治郡桜村

筑波大学 電子・情報工学系 益田隆司 Tel. 0298 (53) 5345

◆ コンピュータビジョン研究会

次の(1)、(2)を選考対象とし、その中から1編を選定する。

(1)60年1月の研究会までの過去数年間にCV研究会で発表されたもの。

(2)60年1月末までに選考対象にしてほしい旨、下記まで届け出たもの。ただし、この場合は、研

研究会資料と同程度の長さで原稿をまとめ、60年1月末までに提出すること。

原稿送付先：〒464 名古屋市千種区不老町

名古屋大学・工・情報工学科 杉原厚吉 Tel. 052 (781) 5111 (内 3309)

#### ◆ 設計自動化研究会

選考対象 昭和59年度(59年4月から60年3月まで)に当研究会で発表された論文。

選考方法 選定委員会を組織し、昭和60年3月に一論文を選定する。

#### ◆ 分散処理システム研究会

下記の要領で優秀な論文を募集する。

##### 1. 論文のテーマ

広域分散・ローカルネットワーク・機能分散・負荷分散などの分散処理システムの設計と運用技術、計算機網技術とその応用に関する理論と実際、マルチメディア通信技術およびこれらに関連するトピックスとする。

なお、すでに当研究会およびシンポジウムで発表した内容も対象となる。

##### 2. 応募要領

応募される場合にはアブストラクトと本論文の両方を、次の要領にしたがって作成し提出すること。

###### (1) アブストラクト

1 ページ目：表題、著者名、所属、代表連絡先(住所、電話番号)

2 ページ目：表題、論文構成(章、節)、キーワード(5～10個)

3 ページ目以降：アブストラクト文

(a) 文章：A4判で3枚以内(1,000～2,000字以内)。論文のポイントを、①背景、②目的、③論文の特徴、④その他の形式で記述すること。

(b) 図表：A4判で3枚以内

(2) アブストラクトの締切 昭和59年11月末

(3) 本論文

「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内(学会誌25巻1号巻末参照)にしたがう。

(4) 本論文の締切 昭和60年1月末(採否の決定は昭和60年7月末までに連絡する)。

##### 3. アブストラクト・本論文提出先：〒980 仙台市片平 2-1-1

東北大学電気通信研究所 野口正一 Tel. 0222 (27) 6200 (内 2355)

#### ◆ 日本文入力方式研究会

当研究分野のオリジナル論文を下記により募集する。

##### (1) 要旨提出

①成果の獨創性を中心とした1,300字程度(A4判1ページのタイプ文書)の要旨 ②章立て構成(別紙)③関連資料(例えば既発表の当研究会資料等)を添えて本年11月末必着で提出のこと。

##### (2) 論文執筆依頼

予備選考結果にもとづき昭和60年1月末頃までに、本選考の候補論文執筆依頼をする。締切りは3月末。

##### (3) 最終決定

4月末までに採用論文の決定を通知する。

#### ◆ グラフィクスとCAD研究会

58年度、59年度の当研究会とシンポジウムに発表されたものの中から選考する。

#### ◆ 数値解析研究会

公募論文および当研究連絡会から依頼する論文の中より1編を選定する。いずれも下記あて送付のこと。

論文締切 昭和59年11月30日(金)(必着)

提出先 〒606 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 数理解析研 一松 信 Tel. 075 (751) 2111 (内 7226)

◆ ソフトウェア基礎論研究会

昭和 60 年 2 月末までに当研究会あるいは関連する機関において公表されたものの中から、査読付の論文誌等に未発表のテーマを当研究連絡会において選定する。

なお、当研究会の関連分野は学会誌 25 巻 4 号みどりのページを参照のこと。

◆ 情報システム研究会

発足後間もないため、論文の公募はしない。主査を中心に幹事が協力して論文を執筆する。

◆ 自然言語処理研究会

次号本欄でお知らせします。

## 第 30 回 全国大会（昭和 60 年前期）の開催について

昭和 60 年春の第 30 回全国大会は下記により開催されます。

つきましては、同全国大会の一般講演申込みの締切りは 11 月上旬となる予定です。

9 月号本欄にご留意ください。

### 記

日 時 昭和 60 年 3 月 13 日(水), 14 日(木), 15 日(金)  
会 場 工学院大学 (東京都新宿区)

## VLSI 85 および CHDL 85 の論文募集について

標記国際会議が来年の 8 月下旬に経団連会館で開催される旨、論文募集とあわせて、前号の本欄で会告いたしました。論文締切り日は、VLSI は来年 1 月 10 日、CHDL は本年 12 月 15 日です。論文提出希望者は、正式の Call for papers を学会事務局にご請求ください。(希望会議名と切手 70 円を同封のこと。)

### お詫び:

前号本欄で予告しました VLSI 85 の基調講演を下記の通り訂正いたします。

○基調講演

H. Schwartzel (Siemens AG 西独), 野村 博 (厚木通研)



## 電子通信学会との友好提携について

当学会の会員が電子通信学会に入会する場合には、必要とする入会金が免除されます。同様に電子通信学会の会員が当学会に入会する際にも入会金を免除することになりました。

これにともない、今後は全国大会にもそれぞれの会員と同等の待遇で、参加・発表できます。

## 電気四学会連合大会について

このたび情報処理学会は標記連合大会に加盟することになりました。本学会の会員は四学会の会員と同じ取り扱いで参加できます。早速ながら本年の連合大会は下記により開催されますのでお知らせします。

### 記

期 日 昭和 59 年 10 月 7 日 (日)～9 日 (火)  
会 場 日本工学院専門学校 3 号館 (東京都大田区西蒲田 5-23-22)  
参 加 費 会員 1,000 円 (学生 500 円) 非会員 1,700 円  
論文集予約 昭和 59 年 9 月 7 日 (金) 締切  
問合せ先 (社)電気学会 電気四学会連合大会係 Tel. 03 (201) 0983

## 本会協賛の行事案内

	(開催期日・場所)	(主催・問合せ先)
第 27 回 標準化全国大会	昭和 59 年 10 月 16 日 (火) ～18 日 (木) 農協ビル・日経ビル	(財)日本規格協会 Tel. 03 (583) 8001
システムと制御チュートリアル講座「デジタル信号処理と制御」	昭和 59 年 10 月 31 日 (水)～12 月 5 日 (水)の 11 月 14 日を除く各水曜日。 大阪科学技術センター	日本自動制御協会 Tel. 075 (751) 6413

# 「LAN/マルチメディアの応用と分散処理」シンポジウム

## 開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 59 年 10 月 16 日 (火), 17 日 (水) 9:00~18:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 5,000 円  
(テキストのみ 3,000 円, 送料 300 円)

申込締切 昭和 59 年 9 月 25 日 (火) (申込書は前号にあります)。

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第 1 日 10 月 16 日 (火)

- 開会の辞 (9:00~9:05) 調査研究担当理事
- 基調講演 (9:05~9:30)  
「LAN とニューメディア」 野口 正一 (東北大)
- 招待講演 (9:30~10:20) 座長 野口 正一 (東北大)  
「LAN/マルチメディア: 設計技術の現状と動向」 所 真理雄 (慶 大)  
——休憩 (10:20~10:30) ——

#### セッション 1 ネットワークシステム (10:30~12:30)

座長 服部 光宏 (日 電)

- サービスベースシステム 深沢 友雄, 田中 英彦, 元岡 達 (東 大)
- Keio Campus Network: S & Tnet 斉藤 利忠, 村井 純, 所 真理雄 (慶 大)
- 複合ローカル・エリア・ネットワーク INI  
田口 昭仁, 宮崎 収兄, 山本 明, 北上 始, 金子 勝蔵, 村上 国男 (ICOT)

- トリスタン制御計算機システム

——大規模分散型ラボラトリ・オートメーション——

黒川 真一, 秋山 篤美, 生出 勝彦, 加藤 直彦, 菊谷 英司, 小磯 晴代 (高エネルギー  
キー物研)

——昼食 (12:30~13:30) ——

#### セッション 2 ネットワークソフトウェア (13:30~15:00)

座長 村上 国男 (ICOT)

- ネットワークソフトウェア向き超高級プログラミング言語 IDL の提案とその応用  
高橋 薫, 白鳥 則郎, 野口 正一 (東北大)
- 分散処理系におけるファイルシステムの設計と実装  
中村 修, 村山 正之, 水場 英世, 斎藤 信男 (慶 大)
- LAN における通信アクセス法 小出 信介, 小谷野 修, 鳥海 雅仁 (富士通)

——休憩 (15:00~15:10) ——

#### セッション 3 評価と解析 (15:10~16:40)

座長 白鳥 則郎 (東北大)

- 複合サービスローカル・エリア・ネットワークの性能評価  
西田 竹志, 村田 正幸, 宮原 秀夫, 高島 堅助 (阪 大)
- マルチ仮想回線動的チャネル割当方式による高性能 LAN アダプタの一方式  
福澤 淳二, 寺田 松昭, 高木 悟, 溝河 貞生, 中西 宏明 (日 立)
- LAN を用いた分散型データベースシステム LIS の通信処理手順について  
滝沢 誠, 横塚 実, 盛屋 邦彦 (情開協), 野口 正一 (東北大)

第2日 10月17日(水)

- 招待講演 (9:00~9:50) 座長 野口 正一 (東北大)  
「LAN/マルチメディア: 事業所通信の現状と動向」 倉地 光男 (電電公社)  
——休憩 (9:50~10:00) ——

セッション 4 相互接続 (10:00~11:30) 座長 浦野 義頼 (KDD)

- LAN 相互接続を考慮した公衆パケット交換サービスの検討  
平松 幸男, 高見 一正, 竹中 豊文 (武通研)
- 広域網接続を考慮した分散パケット交換形ローカルエリアネットワークの構成法と評価  
小沢 和幸, 中山 良平, 村上 秀美, 横田 修成, 木下 研作 (横通研)
- 汎用プロトコル変換装置 (GPC/M) について 中山 信行 (鉄研)

——昼食 (11:30~12:30) ——

セッション 5 ドキュメント通信 (12:30~14:30) 座長 河岡 司 (横通研)

- 分散オフィスにおけるサマリドキュメント処理  
永井 義裕, 阪田 史郎, 服部 光宏 (日電)
- 統合オフィスシステム下における WS (ワーク・ステーション) の Multi Media Data の扱い  
新田 哲二, 吉田 誠, 大宅伊久雄, 松下 温 (沖電気)
- 分散プロセッサによる分散型電子メールシステム  
吉村 晋, 的場 司, 石田 勝世, 鈴木 秀美 (東芝)
- LAN における文書理解サービスとメディア処理ステーションの構成  
木田 博巳, 久保田一成, 岩城 修 (横通研)

——休憩 (14:30~14:40) ——

セッション 6 統合アーキテクチャ (14:40~16:10) 座長 松下 温 (沖電気)

- 統合オフィスシステム “アラジン” の分散処理方式とその適用  
金森 吾一, 山崎 幸雄, 宮本五三雄, 今井 豊 (日電)
- EINS における電子会議サービスと分散処理 OS の構成  
鈴木 達郎, 谷口 秀夫 (横通研)
- テレマティックサービスのための統合的アーキテクチャとプロトコル  
中尾 康二, 小花 貞夫, 浦野 義頼 (KDD)

——休憩 (16:10~16:20) ——

パネル討論 (16:20~18:00)

- 「VAN はどうなるか?」 司会 野口 正一 (東北大)
- パネラー 島 直 (日電), 高月 敏晴 (野村コンピュータ)
- 松下 温 (沖電気), 宮崎 征一 (三菱総研), 小松 清吾 (電電公社)

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(隔月刊)および欧文誌“Journal of Information Processing”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は7月号749ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

\_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (\_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of Information Processing”(\_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 (\_\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

## 支 部 だ よ り

### 中 部 支 部 大 会 講 演 募 集

—昭和 59 年度電気関係学会東海支部連合大会—

期 日 昭和 59 年 10 月 20 日(土), 21 日(日)  
会 場 名城大学理工学部 (名古屋市天白区天白町八事裏山 69-49)  
申込締切 8 月 17 日(金) 午後 5 時必着  
申込方法 前号本欄参照のこと.

### 九州支部「情報処理九州シンポジウム」開催のお知らせ

ディジタル統合網と情報処理技術の融合を軸として進行しつつある情報網の変革期を迎え、情報処理学会九州支部では情報網の基本技術と応用技術に関するシンポジウムを開催いたします。多数参加されますようご案内申し上げます。会員以外の方の参加も歓迎いたします。

題 目 ニューメディア  
期 日 昭和 59 年 8 月 28 日(火)  
会 場 九州大学大型計算機センター 3 階多目的講習室 (福岡市東区箱崎)  
申込方法 前号本欄参照のこと.

#### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

- 支部長あいさつ (10:00~10:10) 駒宮 安男 (九 大)
- 変革期を迎えた情報通信 (10:10~11:10) 金井 久雄 (日 電)
- 高度情報通信網 (11:10~12:10) 内山 徹 (武蔵野通研)
- 昼 食 (12:10~13:00) ——
- ローカル・エリア・ネットワーク (13:00~14:00) 臼田 弘繁 (日 立)
- 衛星通信・衛星放送・ケーブルテレビ (14:00~15:00) 倉谷 重嗣 (NHK)
- 休 憩 (15:00~15:10) ——
- 付加価値通信網 (15:10~16:10) 佐藤 達哉 (日本IBM)

### 九 州 支 部 大 会 講 演 募 集

—電気関係学会九州支部第 37 回連合大会—

期 日 昭和 59 年 10 月 26 日(金), 27 日(土)  
会 場 福岡工業大学 (福岡市東区和白東 3-30-1)  
申込締切 8 月 29 日(水) 午後 5 時必着  
申込方法 前号本欄参照のこと.  
特別講演 10 月 26 日(金) 15:30~17:00  
攻撃性能機構について 中尾 弘之 (九大医学部)

懇親会 10月26日(金) 18:00~20:00 会費 4,000円  
ガーデンパレス (福岡市中央区天神 4-8-15)  
参加希望者は9月29日(土)までに代金を添えてお申込みください。

論文集および懇親会申込先

〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1  
九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会  
Tel. 092(641)1101(内線 5300) (振替口座番号 福岡 8-33001)

東北支部研究会

日 時 昭和59年10月5日(金) 13:00~17:00  
場 所 山形大学工学部 (米沢市城南 4-3-16) 電気系会議室  
発表論文 6~7件の予定 (1件30分程度).  
申込先 支部事務局 Tel. 0222 (27) 6200 (内 2835, 2355)  
申込締切 8月18日(土)  
その他 研究会終了後、懇親会を予定しております。

中部支部「システム制御における知的情報処理技術講習会」

——機械制御用言語とマンマシンシステム——

日 時 昭和59年10月26日(金) 9:00~16:30  
場 所 王山会館 (名古屋市千種区覚王山通 8-18)  
申込締切 昭和59年10月6日(土)

\*その他詳細については本号「会議案内」参照のこと。

58年度会員名簿の追加・訂正について

本年4月に発行いたしました同名簿に、脱落・誤りがありましたので、追加・訂正を本号巻末に掲載しました。ご了承ください。

なお、名簿に残部があります。入用の方は会員4,000円、非会員8,700円(いずれも送料込み)でお届けいたします。現金書留にてお申込みください。

## 欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

### 1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

### 2. 発行計画

- (1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判
- (2) 純学術研究発表誌とし, Paper と Short Note を募集する。
  - (i) Paper (原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき, 欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
  - (ii) Short Note (2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて, 採録を認められた欧文による小論文

### 3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

### 4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い, 1行65ストローク, ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し, パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で, 欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体, 数式中の記号は(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上, タイトル, 氏名, 所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
  - (i) Paper のアブストラクト——200語以内
  - (ii) Short Note のアブストラクト——50語以内
- (3) 図表(写真を含む)は, 完成図(そのまま縮小製版できるもので, 縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお, 文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし, 説明文は別紙にまとめてタイプし, 本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

### 5. 原稿の送付

- (1) コピー4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

### 6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として, ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000